

目標達成計画

作成日: 令和 6年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1		認知症には様々な種類があり、周辺症状も多様である。個々の対応を深めより良いケアの実現の為、認知症の理解や対応について職員全員がもう少し深く学ぶ必要がある。	認知症をよく理解し、入所者様一人ひとりに合ったケアの充実に努めていく。	新人職員については認知症の研修を分かりやすく丁寧に研修を行い、現職員には再研修を実施する。また、毎日の申し送りで困難な対応があった場合は対応の仕方など常時指導行っていく。	3～6ヶ月
2		年1回消防署立ち合いの避難訓練は他部署との合同より・グループホーム自体の訓練(夜間帯)を行うように助言をいただいた。	グループホーム自体で夜勤を行う職員すべてが訓練に参加できるように実施していく。	勤務表作成時に同じ職員が訓練に被らないよう日時を決め、夜間時の一連の流れを何回も行い把握できるようにしていく。	9ヶ月
3		火災時の避難訓練のみで地震、水害等の訓練を行っていない。	今年は地震対策について訓練を行う。	年に2回(4月、10月)に実施し職員全員が参加できるように配慮行う。2階の方を3階へ移動(テーブルの下に布団を敷く)安全を確保する。備蓄の見直しも同時に行う。	6ヶ月
4		介護記録が簡素に書かれている事や、また記入した字が読みづらいことがある。	介護計画の実施と、日々の記録を連動し見えやすくする。	記録はそれぞれの入所者様の気づきなどメモにとり(排泄時間等)記録をする時間帯に記入する。慌てて記入しないで誰が見ても読める字を書くよう指導行う。	1～3ヶ月
5					ヶ月